

# 平成25年度 事業報告

## 第1 公益目的事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学研究及びその指導法並びに作詩法の研究指導機関としての役割を全うするために、広く吟道指導者を育成指導し、不特定多数の者に吟道の普及振興を図ることを目的として、以下の公益目的事業を行った。

### 1 吟道に関する研修会、講習会及び大会の開催

#### 一 研修会・講習会

##### (1) 日本吟道夏季大学講座

詩歌吟詠法と作詩の理論と実技の指導のため、次のとおり夏季吟道大学講座を開催した。

平成25年 8月10日(土)及び11日(日)の2日間

埼玉県川口市 川口総合文化センターにおいて

参加人員 913名

##### (2) 伴奏講習会

詩歌吟詠法の実技向上に資するため、伴奏講習会を行った。

###### ① キーボード上級

平成25年 9月 1日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において

平成25年10月26日(土) 同上

平成25年11月17日(日) 同上

平成25年12月 8日(日) 同上

###### ② コンダクター初級

平成25年 5月19日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において

平成25年 5月26日(日) 同上

平成25年 6月16日(日) 同上

平成25年 6月29日(日) 同上

###### ③ コンダクター中級

平成25年 8月31日(土) 東京都文京区 日本吟道会館において

平成25年 9月14日(土) 同上

###### ④ 地区講習会

###### 1) 南部九州地区伴奏講習会

平成25年 6月 9日(日) 鹿児島県市町村自治会館において

###### 2) 西部九州地区伴奏講習会

平成25年 7月21日(日) 諫早市中央公民館において

###### 3) 三重地区伴奏講習会

平成25年 9月22日(日) 三重県鈴鹿市加佐登公民館において  
以上、参加人員 延・161名

### (3) 地区吟道一般講習会

詩歌吟詠に関する研鑽を深め、広く吟道を普及するため、次の地区において講習会を行った。

#### ①北海道地区

平成25年 5月19日(日) 北海道白老町 白老町コミュニティセンターにおいて

#### ②東北地区

平成25年 5月26日(日) 青森県青森市中央市民センターにおいて

#### ③北関東地区

平成25年 8月 4日(日) 群馬県前橋市第二コミュニティセンター  
において

#### ④北陸地区

平成25年11月10日(日) 富山県射水市 大門総合会館において

#### ⑤三重地区

平成25年 6月 2日(日) 三重県鈴鹿市農村環境改善センターにおいて

#### ⑥静岡地区

平成25年10月20日(日) 静岡県浜松市 なゆた浜北生涯学習センター  
において

#### ⑦中部地区

平成25年10月27日(日) 愛知県弥富市総合福祉センターにおいて

#### ⑧関西・中国地区

平成25年11月10日(日) 鳥取県米子市淀江文化センターにおいて

#### ⑨西部九州地区

平成25年 6月16日(日) 長崎県長与南交流センターにおいて

#### ⑩東部九州地区

平成25年11月 3日(日) 福岡県北九州市立生涯学習センターにおいて

#### ⑪南部九州地区

平成25年 4月 7日(日) 鹿児島県市町村自治会館において

平成25年 7月 7日(日) 宮崎県宮崎市 神宮東公民館において

#### ⑫中国安徽吟道会

平成25年11月13日(水) 安徽省合肥市合肥外国語学院において

#### ⑬中国上海書画吟道会

平成25年11月14日(木) 上海市東輝職業芸術学院において

以上、参加人員 延・931名

### (4) 指導者育成推進講習会

吟道を広く普及するため、詩歌吟詠の指導者の育成とその指導力を強化することを目的として、全国各地で研修を行った。

#### ①北海道地区

平成25年 9月29日(日) 北海道札幌市 真駒内総合福祉センターにおいて

②東北地区

平成25年10月27日(日) 福島県福島市 伊達学習館において

③北関東地区

平成26年 2月 2日(日) 群馬県前橋市 第二コミュニティセンター  
において

④南関東地区

- 1) 平成25年10月13日(日) 東京都文京区 アカデミー茗台において
- 2) 平成26年 2月23日(日) 東京都港区 機械振興会館において

⑤北陸地区

平成25年 9月 1日(日) 富山県射水市 大門総合会館において

⑥中部地区

平成25年 7月21日(日) 愛知県安城市 昭林公民館において

⑦三重地区

平成25年11月 3日(日) 三重県鈴鹿市農村環境改善センターにおいて

⑧西部九州地区

平成25年12月 1日(日) 長崎県佐世保市 日宇地区公民館において

⑨東部九州地区

平成25年 5月26日(日) 福岡県北九州市 生涯学習総合センターにおいて

⑩南部九州地区

- 1) 平成25年10月27日(日) 鹿児島県市 県市町村自治会館において
  - 2) 平成26年 2月23日(日) 宮崎県宮崎市 神宮東公民館において
- 以上、参加人員 延・907名

(5) 南関東地区普及振興懇談会

特に女性による吟道の普及振興のため、実際の活動状況、問題点、新しい方策等について意見交換し、幼少年対象の普及についてワークショップを行った。

平成25年 7月20日(土) 東京都文京区 日本吟道会館において

(6) 役員特別研修会

理事、監事、管理職を対象とした、外部講師による「公益法人の会計・財務」、「公益社団法人の役員の責任」について講習会を開催した。

平成26年2月15日(土) 東京都文京区 日本吟道会館において

二 吟道に関する大会の開催

日頃の吟道精進の成果を披露し、他の人の吟詠を聞いて参考とし、更に広く一般の人々の吟詠に関する関心を高めることにより吟道の普及に資するため、下記の諸大会を開催した。

(1) 日本吟道全国大会

次のとおり日本吟道全国大会を行った。

第63回日本吟道全国大会

平成25年 5月12日(日) 埼玉県川口市 川口総合文化センターホール  
において

参加人員 1,899名

## (2) 日本吟道壮心全国大会

65歳以上を対象に、次のとおり第33回日本吟道壮心全国大会を行った。  
平成25年 9月 8日(日) 東京都江戸川区 タワーホール船堀において  
参加人員 138名

## (3) 日本吟道青少年全国大会

幼少年及び青年を対象に、次のとおり第49回日本吟道青少年全国大会を行った。  
平成26年3月16日(日) 東京都豊島区 南大塚ホール  
参加人員 100名

## (4) 日本吟道女流全国大会

女性の吟道普及を図るため、女子を対象に第16回日本吟道女流全国大会を行った。  
平成25年10月14日(祝) 神奈川県鎌倉市 鎌倉芸術館大ホール  
において  
参加人員 830名

## (5) 日本吟道名吟大会

会員の中でもレベルの高い吟詠家を集めて発表することにより、会員の吟詠力の向上と、一般の人々に対する吟詠の普及を図ることを目的として、第17回日本吟道名吟大会を行った。  
平成25年12月1日(日) 東京都江戸川区 タワーホール船堀において  
参加人員 770名

## (6) 日本吟道全国吟詠コンクール

詩歌吟詠の吟技の向上を通じて優れた指導者を育成するため、名称を日本吟道全国吟詠コンクールと改め、吟士権者を選抜する予選会を全国13地区で行い、選抜された会員による決勝会を次のとおり行った。  
平成25年11月23日(祝) 東京都江戸川区 タワーホール船堀において  
参加人員 630名

## 2 吟道に関する普及活動への支援

吟道の普及活動を行うに当たり、全体的に活性化された活動が行われるよう、人的、財政的支援を行った。

### 一 各地区連合会等及び公認団体の吟道大会の支援

各地区における吟詠活動を推進するため、各地区の連合会等及び公認団体の周年行事に際して、本部からの指導者の派遣及び大会経費の一部助成等の支援を行った。

### 二 女性吟道振興事業の推進

女性の吟道を振興するため、女性吟道振興委員会の活動を支援するとともに、女流吟道大会などについても支援した。

### 三 各地の敬老会、養護施設、学校その他への慰問・指導

## 3 吟道に関する調査研究及び広報事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学的研究及びその指導法並びに作詩法の研究・指導機関として、「新世紀における吟詠研究会」を中心とした研究活動を行う

とともに、その成果等については広報誌等を通じて公表した。

## 一 吟道に関する調査研究

### (1) 詩歌吟詠法及び作詩法に関する研究会

①新世紀の詩歌吟詠法及び作詩法に関し、吟詠研究会を行った。

平成25年 6月 2日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において

平成25年 9月22日(日) 同上

平成25年12月22日(日) 同上

平成26年 3月 9日(日) 同上

参加人員 120名

②その他の調査研究

その他、必要に応じて随時調査研究会を行った。

### (2) 広報事業

不特定多数の人に吟詠を普及するため、吟道に関する各種資料、調査研究の成果等を公表するため、次の広報事業を行った。

①広報誌「日本吟道」の刊行

②詩歌吟詠に関する出版物の刊行

③ホームページによる広報活動

④その他、マスコミ、公共団体等を活用した広報活動

## 第2 収益事業等

公益目的事業を補完し、これを積極的に推進するため、次の収益事業及び共益事業を行った。

### 1 収益事業

一 吟道に関する教本及び教材並びに物品等の販売

二 段級位、伝位及び師範位の認定

(1) 吟詠の技術の向上に伴い、段級位、伝位の認定を行った。

(2) 指導技術の向上に伴い、師範位の認定を行った。

### 2 共益事業

主として本学院の会員を対象とする次の事業を行った。

一 功労者の顕彰及び表彰

(1) 吟道発展に寄与し、特に功労顕著な者に、冠称を贈り顕彰した。

(2) 吟道普及に功績のあった公認団体の代表者に対して感謝状を贈り表彰した。

(3) 吟道普及に功績のあった会員を褒賞した。

(4) 吟道普及に功績のあった公認団体を表彰した。

(5) 永年にわたり吟道を研鑽した高齢者を表彰した。

(6) その他、随時、吟道普及に功績のあった会員を表彰した。

二 正会員吟道大会

正会員を対象として、総会開催時に正会員吟道大会を開催した。

平成25年 6月 8日(土) 東京都豊島区 アカデミーホールにおいて

参加人員 120名

### 三 新春賀詞交歓会

新春を寿ぎ、初吟を披露しつつ賀詞交歓を行った。

平成26年1月12日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において  
参加人員 120名

### 3 その他、目的を達成するために必要な事業

#### 一 記録の制作と保存

本学院の事業等に関する吟詠等を記録及び保存した。

#### 二 (財)全日本吟詠剣詩舞道連合会主催「第2回全国吟詠剣詩舞道大会」に参加した。

平成25年 5月 4日(日)神奈川県横浜市神奈川県民ホールにおいて

#### 三 その他、目的を達成するために必要な事業を行った。